荒尾市立府本小学校　校長便り　No.１１１

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和８年７月６日(月)

私の夏休み～小学校編～

７月に入り、夏休みを指折り数えている子ども達も多いようです。各ご家庭でも色々なご計画があるのではないでしょうか。子ども達の話から、思い出の多い夏休みになりそうな気がしています。

さて、私にも５０年程前、小学生時代がありましたので、子ども達と同じように夏休みを楽しみにしていた時期がありました。あまりおりこうさんではない私がどのような夏休みを過ごしたか、少しお喋りしてみたいと思います。

１学期の終業式では通知表をはじめ多くの宿題も出ます。夏休み前半は色々な意味で気合が入っていますので、一応夏休み中の計画も立てます。７月中に宿題を終わらせて、「８月は夢のような夏休みを過ごす」という本当に夢のような計画を立てます。夏休みの宿題には「１学期のまとめ」？という、夏休みまでの学習のまとめの教材が配られていました。私達のようなお調子者はこの教材に最初に取り組みます。無計画に。解答まで付いていて答え合わせまで済ませてから提出等と、私達にとっては有難い宿題でした。この教材を終わらせると、ずいぶん宿題を済ませた気分になり、ちょっと息抜きと言ってみんなで遊んじゃう訳ですね。もう、こうなると時間の感覚など無くなってしまって、あっという間の７月終わり、あっという間のお盆、あっという間の８月末と過ぎていきます。

夏休みの間、何をしているかというと…。いくつか紹介しましょう。虫取りはほぼ毎日行っていました。ラジオ体操の後、朝飯前に近くの山に行ってクワガタやカブトムシを取ってきます。帰りが１時間ほど遅くなるので母が怒鳴りつけます。「どこに行っとったつね?!」しかし、母もどこに行っていたのかくらいは把握していますので、ゲンコツ一発で終わりです。平日は、一応午前中に宿題等をやるのが日課でした。昼からは、川釣りに行っていましたね。近くに八景水谷水源地がありましたし、ちょっと遠出すれば坪井川や白川が流れているので、自転車さえあればどこへでも行けました。（自転車で校区外にはいってはダメです。）釣ってきた魚はもちろん食べます。ハエ（オイカワ）を両親に甘辛く煮てもらって食べていました。

夏休みの終わりに宿題を確認すると、残っている宿題は、作文、読書感想文、読書感想画…。中でも一行日記などは、毎日書いていなければ後で苦労するものです。夏休み後半には当時始まった２４時間テレビを見ながら、そして泣きながら宿題に取り組んだことを思い出します。２学期の始業式では宿題の半分くらいしか提出できず、休み明け初日から数名の仲間たちと一緒に「居残り」…。居残りが終わると運動場で久しぶりに会った友達と遊んで帰る…。遊んでいる途中先生に見つかって「はよ帰らんか～！」と怒鳴られる落ち…。

楽しい小学校生活でしたが、年を経るごとに「もう少し勉強しておけばよかった…」との念が浮かびます。府本小学校の子ども達が、意義深い夏休みを過ごしてくれるように祈るばかりです。

シリーズ「自分を語る」#１１１

平成２１年度の担任業務を楽しみつつ順調にこなして、いよいよ卒業の時期を迎えました。分厚い文集は７００ページを超え、リレーマラソンでもマラソン世界記録に迫る記録を達成し、「卒業したくないなぁ…。」と呟きながらも、子ども達はどこか誇らしげでした。私は６年生を担任させて頂く事が多く、その都度子ども達に同じような話をしていました。

「卒業式で泣いたらいかん。これでお別れではなく、これから続いていく一人の人間としての繋がりの第一歩だからな。」

どちらかというと涙もろい私ですので、涙を流さずに済むようにそんな話をしていたのかもしれません。でも、それを象徴するような出来事が起こりました。（というか、そういった繋がりを狙った学級経営を行ってきたので、当たり前といえば当たり前です。）玉名町小時代の教え子からいきなり電話がありました。

「センセ～、今から行っていいですか。ちょっと連絡が…。」

「金は持っとらんぞ。お前銀行勤めやろ、自分で何とかせぇ。」

「相変わらずですね、センセ～。話しっつうのは案内状のことです。」

「大体想像しとったー　おめでとう！　夕方ならおるぞ。」

結婚するという報告と結婚式の案内状を２人で持って来るとのことでした。この子は高校時代に野球部に所属し、ちょうど３年の時甲子園に出場しています。しかも、私が担任させて頂いたそのクラスに高校も同じで野球部で一緒に甲子園に行った子もいました。そのことを知っていましたので、宿舎に応援のファクスを送ったことがありました。その子たちの年齢からすると、突然電話がかかってくる場合、殆どが結婚の連絡です。中々嬉しいものです。何せ会場に行くと同窓会のように当時の子ども達がいますからね。しかも、小学校時代の担任が結婚式に出席するのは珍しいらしく、よく声を掛けて頂きます。祝辞を述べさせて頂くことも多く、教師冥利に尽きます。

話が反れてしまいました。卒業式当日、殆どの子ども達は涙を見せずに卒業式を終えました。当日は家族と一緒にこの一年間を振り返ってほしいという私の考えでしたので、一仕事終えて私も自宅で卒業アルバムを見ながら、ゆったりした時間を過ごしました。数日後、保護者の方が準備された宴会に参加させて頂きました。この会が大盛り上がりでした。地域の公的スペースを使って、子ども達も一緒に食事会でした。その会の最後にある保護者の方からこう提案がありました。

「この会は第１回澤田会です。節目節目に会を行います。その都度連絡しますので、奮ってご参加ください！」

という訳で、この時の教え子達は３５歳?ですが、既に澤田会は結婚式を含めると十数回を数えます。嬉しいものです。

さて、卒業式後でしたでしょうか、その翌日でしたでしょうか、また校長先生からの呼び出しです。

「澤田先生、ご苦労様でした。で、来年度（平成２２年度）の相談です。」

今度は何!!　と顔が引きつるのを感じる澤田でした。　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）